

9月1日「防災の日」に街頭活動を実施しました

～恵比寿駅前で防災関連のクリアファイルを配布～

日本損害保険協会（会長：新納 啓介 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社代表取締役社長）では、9月1日の「防災の日」に、恵比寿駅前（恵比寿スカイウォーク出口付近）で、防災意識を高めてもらうために街頭活動を実施しました。

当日は、新納協会長のほか、白井一般委員長、廣松関東支部委員長、日本代協、損保会社、本部、関東支部職員15名が、「9月1日は関東大震災から100年です」、「9月1日は防災の日です。普段から災害に備えましょう」、「ゲリラ豪雨が頻発しているので注意しましょう」などと通行人の方々に声をかけながら、地震災害への備えや情報や掲載したクリアファイルを配布しました。防災への関心を高めてもらうため、配布されたクリアファイルの中には、地震災害のほか、豪雨災害への備えや情報を掲載したチラシや外国人の方々が災害や事故に巻き込まれた場合に、役に立つWebサイトを紹介するうちわを入れました。

関東大震災発生から今年で100年を迎えましたが、2011年東日本大震災以降も、近年は大規模な地震や豪雨などの自然災害が頻発しており、防災意識を高め、災害への備えをしっかりとしておく必要があります。

当協会では、「防災の日」が制定された意義を認識して、行政や関係団体とも連携を取りながら、自然災害リスクの啓発と事前の備えの促進に関する取り組みを着実に進めていきます。



通行人に啓発物を配布する新納会長



街頭活動の様相



配布物①（地震災害クリアファイル）



配布物②（豪雨災害チラシ）



配布物③
（外国人向け特設サイト紹介
うちわ）

